

II その他の情報収集提供業務

1 消費者代表との意見交換会

中期計画においては、「消費者等への情報の提供については、消費者等の視点に立ってその要望に応えた分かりやすい情報とするため、消費者等との意見交換会等を通じた双方向・同時的な情報や意見の交換を行うことにより、消費者等の理解の促進を図る」としている。このことを踏まえ、以下のとおり消費者代表との意見交換会を実施した。

開催日	分野	議 題 等
平成25年 6 月21日（金）	畜産	飼料価格の高騰など厳しい情勢の中で、地域ブランド創出により経営安定を図る畜産農家の方や畜産関係の加工・流通等に携わる方との意見交換の場を設け、消費者代表の方々に畜産経営や畜産物を巡る情勢について理解の促進を図る。

2 「消費の道しるべ」等への掲載及びセミナーの開催

一般財団法人消費科学センターが発行する「消費の道しるべ」及び全国地域婦人団体連絡協議会が発行する「全地婦連」に消費者の関心のある記事を掲載した。

また、機構の各業務や業務を通じて得られた様々な情報について、広報活動をはじめとした様々な手段・方法で広く国民の皆様知ってもらえるよう、情報の社会的発信の強化として、広報誌「a l i c」を発行（隔月）したほか、セミナーを開催した。

（1）「消費の道しるべ」への掲載

掲載月	掲載内容
7	酪農をめぐる現状について
8	食べて知る、野菜の底力
9	消費者の方々が抱く砂糖のイメージとよくある質問について
10	ばれいしょでん粉は身近な食材
11	日本の酪農が果たす様々な役割
12	野菜に関する情報が一目で分かるベジ探を利用しよう
1	砂糖の製造法について
2	「かんしょでん粉」について
3	知って、見て、活用できる、情報コンテンツ

（2）「全地婦連」への掲載

掲載月	掲載内容
7	さとうきびについて
9	肉用牛繁殖経営と新規参入者への支援について

2	食べて知る、野菜の力
---	------------

(3) 広報誌の発行

発行月	主な掲載内容
5	アスパラガスの長期どりについて ～佐賀県の取組み～ 漁業から心機一転 ～伊是名島でさとうきび栽培に励む～
7	飼料用米を用いて地産地消の養豚経営を实践 ～岐阜県揖斐川町～
9	土作りで高品質のてん菜生産 ～北海道恵庭市～ 口蹄疫復興のシンボル ～西米良種雄牛センターの整備を支援～
11	キャベツで魅せる ～野菜と人の素敵な関係～ ジェラートの製造・販売で6次産業化に取り組む酪農家 ～神奈川県伊勢崎市～
1	シラス台地でのでん粉原料用かんしょの栽培 ～鹿児島県肝属～
3	人と作物が育つ農業を ～(株)鈴生の取組み～ 豊かな自然が育む「神の島」の肉用子牛生産 (鹿児島県屋久島町)

(4) セミナーの開催

実施月	主なテーマ
4	「カット野菜の需給構造実態について」 野菜需給部 部長 春日健二 「欧州の農畜産業事情」 ・スイスの次期農政改革 農林中金総合研究所 首席研究員 平澤明彦 ・欧州における酪農事情 調査情報部 矢野麻未子
5	「農業・農政のあり方を考える」 名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授 生源寺眞一 氏
7	「東南アジアの畜産事情」 ・「タイとベトナムの畜産の将来」 調査情報部 宗政修平 ・「ミャンマーにおける飼料原料事情」 調査情報部 山崎博之
9	「デンマーク・オランダの養豚生産の状況」 調査情報部 宅間 淳
10	「タイの砂糖・でん粉生産状況について」 調査情報部 審査役 河原 壽、植田 彩
1	「インドネシアの牛肉需給をめぐる最近の状況」 調査情報部 伊藤 久美

3

「中国トウモロコシの需給事情」

調査情報部 審査役 河原 壽